

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	約14年6カ月間(2013年10月28日~2028年5月8日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーフアード	下記の各マザーファンドの受益証券
	ダイワ先進国債券(為替ヘッジあり)マザーファンド(債券マザーファンド)	先進国通貨建ての債券
	ワールド好配当株式マザーファンド(株式マザーファンド)	イ. 海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。) ロ. 海外株式の指数を対象指数としたETF(上場投資信託証券) ハ. 海外株式を対象とした株価指数先物取引 ニ. 国内の債券
先進国REITマザーファンド(リート・マザーファンド)	イ. 先進国(日本を除きます。以下同じ。)の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。以下同じ。)または店頭登録(登録予定を含みます。以下同じ。)の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券(以下総称して「リート」といいます。) ロ. 先進国のリート指数を対象指数としたETF ハ. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引 ニ. 国内の債券	
ベビーフアードの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式および不動産投資信託証券(リート)に投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ※マザーファンドを通じてETFに投資することがあり、そのETFには、一部日本の資産が組み入れられている場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。 ロ. 証券市場のリスクが高まっていると委託会社が判断する局面では、債券の組入比率を高めます。 ハ. 株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。 ニ. 株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。</p> <p>③債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④債券マザーファンドでは、保有する外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
株式組入制限	債券マザーファンド	純資産総額の10%以下
	株式マザーファンド	無制限
	リート・マザーファンド	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーフアード(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ外国3資産 アロケーション・ファンド (部分為替ヘッジあり)

## 運用報告書(全体版)

### 第5期

(決算日 2018年5月8日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド(部分為替ヘッジあり)」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5636>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託証券組入比率	不動産投信指数先物比率	純資産総額
	円	円	%				
1 期末（2014年 5 月 8 日）	10,604	0	6.0	23.5	72.8	—	百万円 224
2 期末（2015年 5 月 8 日）	11,831	0	11.6	38.6	57.2	—	597
3 期末（2016年 5 月 9 日）	11,102	0	△ 6.2	37.2	56.8	—	694
4 期末（2017年 5 月 8 日）	11,593	0	4.4	34.0	62.8	—	759
5 期末（2018年 5 月 8 日）	11,461	0	△ 1.1	32.9	63.6	0.8	771

（注 1）組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注 2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

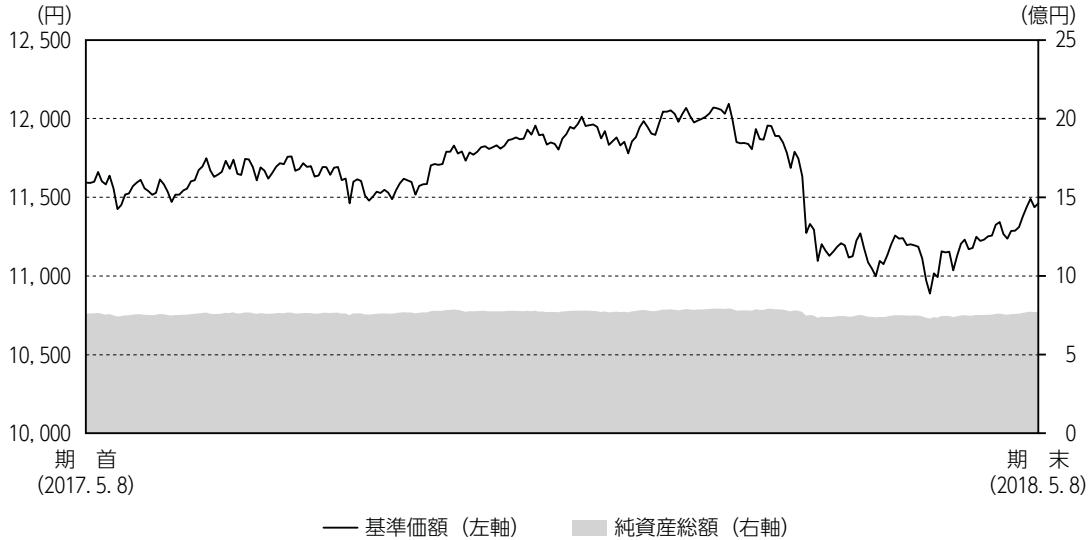
（注 3）不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

（注 4）当ファンドは、各資産クラスへの配分が可変的で適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：11,593円

期末：11,461円

騰落率：△1.1%

#### ■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を通じて、各資産クラスに投資した結果、主に海外リート市況が下落したことや為替相場において円高が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	投資信託証券 組 入 比 率	不動産投信 指 数 先 物 比 率
	円	騰 落 率 %			
(期首) 2017年5月8日	11,593	—	34.0	62.8	—
5月末	11,516	△ 0.7	33.3	62.2	—
6月末	11,649	0.5	29.3	66.5	0.7
7月末	11,632	0.3	29.2	66.9	0.5
8月末	11,589	△ 0.0	34.1	62.1	0.5
9月末	11,790	1.7	29.0	66.9	1.0
10月末	11,804	1.8	29.2	67.4	0.9
11月末	11,883	2.5	28.9	67.3	0.8
12月末	12,066	4.1	29.1	67.0	1.3
2018年1月末	11,687	0.8	24.5	71.6	1.0
2月末	11,175	△ 3.6	33.5	62.6	1.3
3月末	11,150	△ 3.8	38.7	57.9	0.7
4月末	11,378	△ 1.9	33.5	63.4	0.8
(期末) 2018年5月8日	11,461	△ 1.1	32.9	63.6	0.8

(注) 騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017.5.9～2018.5.8)

## ■海外債券市況

海外債券市況は、期を通して、金利はおおむね上昇しました。米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことなどが金利の低下材料となりました。しかし、米国やカナダで複数回利上げが行なわれたことや、日本およびユーロ圏などにおいて金融政策の正常化観測が高まったことなどから、金利は上昇傾向となりました。また、米国の税制改革法が成立したことを背景に市場のリスク選好度が強まったことなども、金利の上昇材料となりました。

## ■海外株式市況

海外株式市況は、米国トランプ大統領とロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑などを受けて下落する局面があったものの、良好な企業業績や経済指標などが支援材料となり、期首から2017年8月上旬にかけて上昇基調となりました。8月中旬には、北朝鮮の核・ミサイル開発をめぐる米国・北朝鮮間の緊張激化などから下落しましたが、9月以降は、良好な経済指標を受けた世界景気の拡大期待、堅調な企業業績、米国の税制改革法案への期待などから12月にかけて上昇基調となりました。2018年1月には、米国の税制改革法成立を受けた企業業績や景気拡大期待から、さらに上値を追う展開となりました。しかし2月に入ると、市場予想を上回る1月の米国雇用統計を受けて同国の金利が上昇したことから大幅に下落しました。その後は、良好な企業業績などを受けて一時的に反発しましたが、米国の保護主義的な貿易政策を受けて米中間の貿易摩擦への懸念が高まったことなどから上値の重い展開となり、期末を迎えました。

## ■海外リート市況

海外リート市況は、地域によってまちまちの値動きとなりました。

米国リート市況は、期首より、長期金利の低下による割安感が台頭したことで緩やかな上昇基調で始まりました。2017年7月以降は、米国景気の底堅さやトランプ政権に対する政策期待などの好材料がある一方、利上げ懸念や北朝鮮をはじめとした地政学リスクもあって方向感のない動きとなりました。しかし2018年に入ると、好調な経済指標の発表により早期利上げ観測が高まったことから長期金利が上昇し、利回り資産としてのリートに売り圧力が強まり期末を迎えました。カナダリート市況は、期を通じて緩やかな上昇でした。

欧州リート市況は、2017年6月以降、ドイツなどで長期金利が上昇に転じたことやフランス大手リートの増資発表が悪材料となり、上値が重い展開となりました。その後しばらくは、長期金利の影響を受ける一進一退の値動きとなりました。11月から12月にかけては、好調な不動産ファンダメンタルズや大手商業施設リートに対する買収観測などが好材料となり、フランスやドイツを中心と

して総じて堅調に推移しました。2018年に入ると、堅調な景気を受けた長期金利の上昇や米国株式の急落から売られる展開となりましたが、期末にかけては急落の反動で緩やかな上昇に転じました。

アジア・オセアニアリート市況は、香港およびシンガポールは、期首から自国金利が低下に転じたことや中国政府への政策期待などにより上昇しました。2017年8月以降は小動きの展開となりましたが、11月からは、一部リートの好決算や世界的な景気見通しの改善などを反映し、上昇しました。2018年に入ると、他地域と同様に下落基調となりました。オーストラリアは、期首から商業施設セクターを中心に売られましたが、その後はアジア地域と似た値動きとなりました。

### ■為替相場

為替相場は、期を通して、米ドルなどは下落（円高）した一方、ユーロなどは上昇（円安）しました。期首より、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されたことなどが円高の材料となりました。2017年6月以降は、ECB（欧州中央銀行）の金融緩和姿勢の後退がユーロなどの上昇要因となりました。9月に入ると、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから円安傾向となりました。その後、主要通貨はおおむね横ばいで推移しましたが、2018年に入ると、米国のムニューシン財務長官による米ドル安容認発言などから米ドルが下落しました。2月には、米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことや各国の株価が急落したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、円は上昇傾向となりました。4月以降は、米国の金利が上昇したことなどから米ドルが上昇しました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のリスクが高まっていると大和投資信託が判断する局面では、債券の組入比率を高めめます。ワールド好配当株式マザーファンド（株式マザーファンド）および先進国REITマザーファンド（リート・マザーファンド）の合計組入比率ならびにダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

（債券マザーファンド）の組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

### ■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ■ワールド好配当株式マザーファンド

米国は良好な雇用環境を背景に景気拡大が続いています。欧州は、景気回復が着実に進展する中、フランス大統領選挙で事前の世論調査通りにマクロン氏が勝利したことで当面の政治リスクは軽減されました。中国は5年に一度の共産党大会を秋に控え政治動向が注目されますが、欧米を中心に良好な投資環境は継続すると考えています。当面の間、ETF（上場投資信託証券）での運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行なう予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行なう方針です。

### ■先進国REITマザーファンド

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。リートの組入比率は、期を通じて原則として95%以上で運用を行ないます。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

## ポートフォリオについて

(2017. 5. 9 ~ 2018. 5. 8)

### ■当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更しました。証券市場の

## ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

リスクが高まっていると大和投資信託が判断する局面では、債券の組入比率を高めました。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内としました。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等としました。

### ■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

### ■ワールド好配当株式マザーファンド

ファンド規模が一定水準に達するまでETFでの運用が合理的であると考え、流動性や配当利回り等を勘案し、ISHARES INTERNATIONAL SELECTとVANGUARD HIGH DVD YIELD ETFを組み入れました。投資証券組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

### ■先進国REITマザーファンド

海外リートの組入比率（不動産投信指数先物を含む。）は、期を通じて原則として98~99%台で運用を行ないました。海外リートポートフォリオにつきましては、S&P先進国REIT指数（除く日本）採用銘柄の中から流動性の高い海外リートを中心に通常50銘柄程度で組成し、結果として時価総額の大きい海外リートを主としたポートフォリオとなりました。また2017年6月中旬から、運用の効率化を図るため、先進国のリートを対象とした不動産投信指数先物を一部組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



## 分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2017年5月9日 ～2018年5月8日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,507

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

マザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券、株式およびリートに投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求しつつ、局面判断によって配分比率を機動的に調整することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

運用にあたっては、相対的に価格変動リスクの小さい債券と相対的に価格変動リスクの大きい株式およびリートの組入比率を、証券市場のリスク局面に応じて機動的に変更します。証券市場のリスクが高まっていると大和投資信託が判断する局面では、債券の組入比率を高めめます。株式マザーファンドおよびリート・マザーファンドの合計組入比率ならびに債券マザーファンドの組入比率は、それぞれ信託財産の20%程度から80%程度の範囲内とします。株式マザーファンドとリート・マザーファンドの組入比率はおおむね均等とします。

### ■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

### ■ワールド好配当株式マザーファンド

海外株式市況は堅調な推移が見込まれます。企業業績は、好調な世界経済を背景に順調に成長を続けています。地政学リスクの高まりや世界的な貿易摩擦の激化などが懸念材料となりますが、引き続き好調な企業業績を反映した堅調な相場展開になると想定されます。当面の間、ETFでの運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行なう予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行なう方針です。

### ■先進国REITマザーファンド

引き続き、日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。なお、運用の効率化を図るため、不動産投信指数先物取引を利用することがあります。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 5. 9～2018. 5. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	169円	1.458%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,619円です。
（投信会社）	(82)	(0.702)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(82)	(0.702)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(6)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	13	0.113	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先 物）	(1)	(0.006)	
（投資信託証券）	(13)	(0.108)	
有価証券取引税	8	0.072	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(8)	(0.072)	
そ の 他 費 用	18	0.156	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.089)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(7)	(0.059)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	209	1.799	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2017年5月9日から2018年5月8日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド好配当株式マザーファンド	92,911	128,915	104,028	143,076
先進国REITマザーファンド	98,343	143,313	85,683	121,453
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド	208,277	237,226	206,494	235,572

（注）単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド好配当株式マザーファンド	187,122	176,006	245,898
先進国REITマザーファンド	162,960	175,619	255,579
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド	228,729	230,512	263,891

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2018年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド好配当株式マザーファンド	245,898	31.6
先進国REITマザーファンド	255,579	32.9
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド	263,891	33.9
コール・ローン等、その他	12,206	1.6
投資信託財産総額	777,575	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.91円、1カナダ・ドル＝84.55円、1オーストラリア・ドル＝81.91円、1香港ドル＝13.87円、1シンガポール・ドル＝81.60円、1イギリス・ポンド＝147.82円、1スウェーデン・クローネ＝12.33円、1メキシコ・ペソ＝5.61円、1ポーランド・ズロチ＝30.51円、1ユーロ＝129.96円です。

（注3）ワールド好配当株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（244,810千円）の投資信託財産総額（245,906千円）に対する比率は、99.6%です。  
先進国REITマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,745,282千円）の投資信託財産総額（3,814,231千円）に対する比率は、98.2%です。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（432,947千円）の投資信託財産総額（452,379千円）に対する比率は、95.7%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月8日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>777,575,006円</b>
コール・ローン等	12,206,037
ワールド好配当株式マザーファンド（評価額）	245,898,362
先進国REITマザーファンド（評価額）	255,579,377
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド（評価額）	263,891,230
<b>(B) 負債</b>	<b>5,620,704</b>
未払解約金	55,994
未払信託報酬	5,533,933
その他未払費用	30,777
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>771,954,302</b>
元本	673,549,697
次期繰越損益金	98,404,605
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>673,549,697口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	11,461円

\*期首における元本額は655,388,989円、当期中における追加設定元本額は111,492,162円、同解約元本額は93,331,454円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,461円です。

■損益の状況

当期 自2017年5月9日 至2018年5月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,357円
受取利息	271
支払利息	△ 5,628
(B) 有価証券売買損益	1,761,247
売買益	13,692,539
売買損	△ 11,931,292
(C) 信託報酬等	△ 11,220,299
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 9,464,409
(E) 前期繰越損益金	26,655,159
(F) 追加信託差損益金	81,213,855
(配当等相当額)	( 46,527,329)
(売買損益相当額)	( 34,686,526)
(G) 合計 (D+E+F)	98,404,605
次期繰越損益金 (G)	98,404,605
追加信託差損益金	81,213,855
(配当等相当額)	( 46,527,329)
(売買損益相当額)	( 34,686,526)
分配準備積立金	29,749,302
繰越損益金	△ 12,558,552

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：36,235円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	71,754,803
(d) 分配準備積立金	29,749,302
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	101,504,105
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	101,504,105
(h) 受益権総口数	673,549,697口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用において参照している指数の名称変更について

当ファンドの主要投資対象である「ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド」において参照している指数の名称を「シティ世界国債インデックス」から「FTSE世界国債インデックス」に変更しました。

# ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

## 運用報告書 第5期（決算日 2018年5月8日）

（計算期間 2017年5月9日～2018年5月8日）

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建ての債券
運用方法	<p>①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※当ファンドにおいて、先進国とはF T S E世界国債インデックス（除く日本）構成国をいい、先進国通貨とはインデックス構成国の通貨をいいます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象は先進国の政府（州政府を含みます。）、先進国の政府関係機関、国際機関および事業会社等が発行する先進国通貨建ての債券とします。事業会社が発行する債券の格付けは、取得時においてA A格相当以上（ムーディーズでA a 3以上またはS &amp; PでA A-以上）とします。</p> <p>ロ. ポートフォリオの修正デュレーションは10（年）程度以内とします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④運用の効率化を図るため、債券先物取引を利用することがあります。このため、債券の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>⑤為替変動リスクを低減するため、外貨建資産については為替ヘッジを行ないます。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

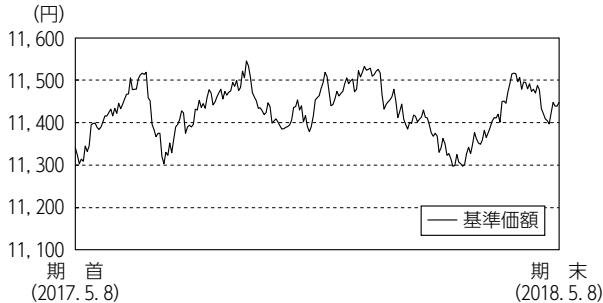
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) (参考指数)		公社債 組入 比率	債券 先物 比率
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %		
(期首)2017年5月8日	11,340	—	11,309	—	99.5	—
5月末	11,424	0.7	11,394	0.8	96.0	—
6月末	11,396	0.5	11,350	0.4	99.1	—
7月末	11,390	0.4	11,341	0.3	97.5	—
8月末	11,486	1.3	11,444	1.2	98.6	—
9月末	11,404	0.6	11,344	0.3	97.7	—
10月末	11,454	1.0	11,389	0.7	97.2	—
11月末	11,473	1.2	11,402	0.8	97.2	—
12月末	11,452	1.0	11,383	0.7	98.6	—
2018年1月末	11,368	0.2	11,264	△ 0.4	97.3	—
2月末	11,327	△ 0.1	11,223	△ 0.8	96.6	—
3月末	11,515	1.5	11,379	0.6	97.4	—
4月末	11,424	0.7	11,270	△ 0.3	97.8	—
(期末)2018年5月8日	11,448	1.0	11,294	△ 0.1	96.2	—

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。  
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。  
 (注5) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,340円 期末：11,448円 騰落率：1.0%

【基準価額の主な変動要因】

米国などで債券価格が下落したことが基準価額のマイナス要因となりましたが、投資している債券の利息収入が基準価額のプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市況

海外債券市況は、期を通して、金利はおおむね上昇しました。米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことなどが金利の低下材料となりました。しかし、米国やカナダで複数回利上げが行われたことや、日本およびユーロ圏などにおいて金融政策の正常化観測が高まったことなどから、金利は上昇傾向となりました。また、米国の税制改革法が成立したことを背景に市場のリスク選好度が強まったことなども、金利の上昇材料となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  
 また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。  
 また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
 当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  
 また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)
合 計	9

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

# ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

## ■売買および取引の状況

### 公 社 債

(2017年5月9日から2018年5月8日まで)

		買付額	売付額
アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 1,436	千アメリカ・ドル 1,737 ( — )
	社債券	—	( — 30)
カナダ	社債券	千カナダ・ドル 39	千カナダ・ドル ( — 40)
イギリス	国債証券	千イギリス・ポンド 97	千イギリス・ポンド ( — 56)
	社債券	—	( — 18)
スウェーデン	特殊債券	千スウェーデン・クロネ 791	千スウェーデン・クロネ ( — 409)
メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 2,350	千メキシコ・ペソ ( — —)
ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ 102	千ポーランド・ズロチ ( — 380)
ユーロ (アイルランド)	国債証券	千ユーロ —	千ユーロ ( — 24)

		買付額	売付額
外 国	ユーロ (ベルギー)	千ユーロ —	千ユーロ 161 ( —)
	ユーロ (フランス)	千ユーロ 395	千ユーロ ( — 364)
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 123	千ユーロ ( — 118)
	ユーロ (スペイン)	千ユーロ 634	千ユーロ ( — 518)
	ユーロ (イタリア)	千ユーロ 544	千ユーロ ( — 384)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千ユーロ 1,698	千ユーロ ( — 1,571)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 公 社 債

(2017年5月9日から2018年5月8日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2023/5/15	62,323	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2023/5/15	49,717
SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 4.4% 2023/10/31	61,523	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1% 2019/11/30	45,520
ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 1.35% 2022/4/15	57,564	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15	34,200
FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス) 0.25% 2026/11/25	51,932	SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 4.4% 2023/10/31	32,541
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/11/15	31,706	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2022/5/15	32,171
SPANISH GOVERNMENT BOND (スペイン) 1.5% 2027/4/30	21,365	FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス) 0.25% 2026/11/25	25,789
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15	21,202	FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス) 3.25% 2021/10/25	22,379
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3% 2045/11/15	15,352	ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 1.35% 2022/4/15	18,018
Mexican Bonos (メキシコ) 7.5% 2027/6/3	14,093	Belgium Government Bond (ベルギー) 0.8% 2025/6/22	15,702
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ) 1.5% 2023/2/15	13,658	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro (イタリア) 4.5% 2024/3/1	14,868

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。



■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 1,030	千アメリカ・ドル 997	千円 108,590	% 24.5	% —	% 23.3	% 0.5	% 0.7
カナダ	千カナダ・ドル 107	千カナダ・ドル 108	9,201	2.1	—	0.6	—	1.4
イギリス	千イギリス・ポンド 165	千イギリス・ポンド 187	27,759	6.3	—	5.4	0.8	—
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 2,800	千スウェーデン・クローネ 2,862	35,290	8.0	—	2.2	5.7	—
メキシコ	千メキシコ・ペソ 2,300	千メキシコ・ペソ 2,278	12,783	2.9	—	2.9	—	—
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 300	千ポーランド・ズロチ 306	9,355	2.1	—	2.1	—	—
ユーロ (アイルランド)	千ユーロ 30	千ユーロ 32	4,259	1.0	—	1.0	—	—
ユーロ (ベルギー)	千ユーロ 40	千ユーロ 47	6,216	1.4	—	1.4	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 260	千ユーロ 253	32,937	7.4	—	7.4	—	—
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 55	千ユーロ 74	9,636	2.2	—	2.2	—	—
ユーロ (スペイン)	千ユーロ 523	千ユーロ 594	77,289	17.4	—	13.5	3.3	0.6
ユーロ (イタリア)	千ユーロ 662	千ユーロ 719	93,463	21.1	—	7.1	13.0	0.9
ユーロ (小計)	1,570	1,722	223,801	50.4	—	32.6	16.3	1.5
合 計	—	—	426,783	96.2	—	69.1	23.4	3.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
				%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	430	409	44,559	2023/05/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	20	19	2,136	2021/05/31
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.3750	40	48	5,270	2039/11/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.0000	255	249	27,186	2045/11/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	255	240	26,170	2027/11/15
		Westpac Banking Corp	社 債 券	2.2500	30	30	3,267	2018/07/30
通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄			1,030	997	108,590	
カナダ		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.4000	35	35	3,040	2019/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	15	15	1,323	2024/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.4500	17	17	1,501	2045/06/02
		Toronto-Dominion Bank/The	社 債 券	1.6930	40	39	3,335	2020/04/02
	通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄			107	108	9,201
イギリス		United Kingdom Gilt	国債証券	2.0000	90	94	14,035	2025/09/07
		United Kingdom Gilt	国債証券	1.5000	25	25	3,763	2021/01/22
		United Kingdom Gilt	国債証券	3.5000	50	67	9,960	2045/01/22
	通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄			165	187	27,759
スウェーデン		Kommuninvest I Sverige AB	特殊債券	1.0000	2,000	2,062	25,427	2021/09/15
		Kommuninvest I Sverige AB	特殊債券	1.0000	800	799	9,863	2024/10/02
	通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄			2,800	2,862	35,290
メキシコ		Mexican Bonos	国債証券	7.5000	2,300	2,278	12,783	2027/06/03
	通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄			2,300	2,278	12,783
ポーランド		Poland Government Bond	国債証券	3.2500	300	306	9,355	2025/07/25
	通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄			300	306	9,355
ユーロ(アイルランド)		IRISH TREASURY	国債証券	2.4000	10	11	1,488	2030/05/15
		IRISH TREASURY	国債証券	2.0000	20	21	2,770	2045/02/18
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			30	32	4,259	
ユーロ(ベルギー)		Belgium Government Bond	国債証券	1.6000	10	9	1,296	2047/06/22
		Belgium Government Bond	国債証券	3.0000	30	37	4,920	2034/06/22
	国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			40	47	6,216
ユーロ(フランス)		FRENCH GOVERNMENT BOND	国債証券	0.2500	260	253	32,937	2026/11/25
	国小計	銘柄数 金 額	1銘柄			260	253	32,937

ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ユーロ(ドイツ)		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.7500%	千ユーロ 20	千ユーロ 28	千円 3,690	2028/07/04
		GERMAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.5000	35	45	5,945	2044/07/04
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄			55	74	9,636	
ユーロ(スペイン)		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.1500	千ユーロ 110	千ユーロ 113	14,755	2020/07/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	1.5000	150	154	20,130	2027/04/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2000	8	10	1,409	2037/01/31
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	4.1000	20	20	2,626	2018/07/30
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	4.4000	210	255	33,224	2023/10/31
		SPANISH GOVERNMENT BOND	国債証券	5.1500	25	39	5,142	2044/10/31
国小計	銘柄数 金 額	6銘柄			523	594	77,289	
ユーロ(イタリア)		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.3500	千ユーロ 310	千ユーロ 322	41,863	2022/04/15
		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.0000	80	83	10,891	2025/12/01
		ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	0.6500	120	122	15,894	2020/11/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	5.0000	22	29	3,896	2034/08/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	4.7500	70	89	11,602	2028/09/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	4.7500	30	40	5,325	2044/09/01
		Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	国債証券	1.5000	30	30	3,988	2019/08/01
国小計	銘柄数 金 額	7銘柄			662	719	93,463	
通貨小計	銘柄数 金 額	20銘柄			1,570	1,722	223,801	
合 計	銘柄数 金 額	37銘柄					426,783	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

### ■投資信託財産の構成

2018年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 426,783	% 94.3
コール・ローン等、その他	25,596	5.7
投資信託財産総額	452,379	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.91円、1カナダ・ドル=84.55円、1イギリス・ポンド=147.82円、1スウェーデン・クローネ=12.33円、1メキシコ・ペソ=5.61円、1ポーランド・ズロチ=30.51円、1ユーロ=129.96円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(432,947千円)の投資信託財産総額(452,379千円)に対する比率は、95.7%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月8日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>880,410,491円</b>
コール・ローン等	19,922,798
公社債(評価額)	426,783,121
未取入金	429,816,923
未取利息	2,894,946
前払費用	992,703
<b>(B) 負債</b>	<b>436,660,416</b>
未払金	436,660,240
その他未払費用	176
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>443,750,075</b>
元本	387,616,889
次期繰越損益金	56,133,186
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>387,616,889口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	11,448円

\*期首における元本額は381,185,638円、当期中における追加設定元本額は225,995,704円、同解約元本額は219,564,453円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ先進国債券(為替ヘッジあり)資金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)48,881,566円、ダイワ外国3資産バランス・ファンド(部分為替ヘッジあり)108,222,368円、ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド(部分為替ヘッジあり)230,512,955円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,448円です。

### ■損益の状況

当期 自2017年5月9日 至2018年5月8日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>8,477,522円</b>
受取利息	8,482,974
支払利息	△ 5,452
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>3,627,086</b>
売買益	△ 45,904,519
売買損	△ 49,531,605
<b>(C) その他費用</b>	<b>348,026</b>
△	
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>4,502,410</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>51,083,379</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>30,931,899</b>
△	
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>31,479,296</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>56,133,186</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>56,133,186</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

#### 《お知らせ》

●運用において参照している指数の名称変更について  
「シティ世界国債インデックス」を「FTSE世界国債インデックス」に変更しました。

# ワールド好配当株式マザーファンド

## 運用報告書 第5期 (決算日 2018年5月8日)

(計算期間 2017年5月9日～2018年5月8日)

ワールド好配当株式マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>イ. 海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ）</p> <p>ロ. 海外株式の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券）</p> <p>ハ. 海外株式を対象とした株価指数先物取引</p> <p>ニ. 国内の債券</p>
運用方法	<p>①主として、海外株式、海外株式の指数を対象指数としたETF、海外株式を対象とした株価指数先物取引および残存期間の短いわが国の債券に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。 ※一部日本の株式を含む指数を対象とするETFを組み入れる場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に投資します。</p> <p>ロ. 配当の質の高い企業を選定します。</p> <p>ハ. 配当利回りの水準、時価総額規模、流動性を勘案します。</p> <p>ニ. 定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮します。</p> <p>③運用の効率化を図るため、海外株式を対象とした株価指数先物取引を利用することがあります。このため、株式およびETFの組入総額ならびに株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

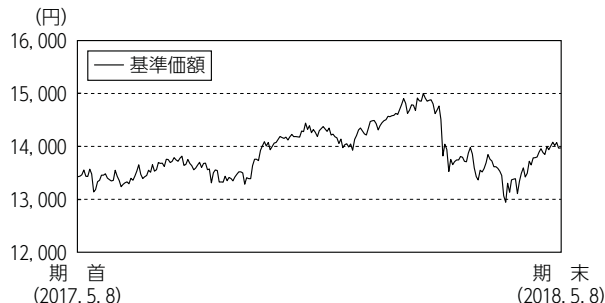
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



◆運用経過

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,427円 期末：13,971円 騰落率：4.1%

【基準価額の主な変動要因】

海外のETF（上場投資信託証券）を通じて株式に投資した結果、為替相場で米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となったものの、海外株式市況が上昇したことがより大きなプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○海外株式市況

海外株式市況は、米国トランプ大統領とロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑などを受けて下落する局面があったものの、良好な企業業績や経済指標などが支援材料となり、期首から2017年8月上旬にかけて上昇基調となりました。8月中旬には、北朝鮮の核・ミサイル開発をめぐる米国・北朝鮮間の緊張激化などから下落しましたが、9月以降は、良好な経済指標を受けた世界景気の拡大期待、堅調な企業業績、米国の税制改革法案への期待などから12月にかけて上昇基調となりました。2018年1月には、米国の税制改革法成立を受けた企業業績や景気拡大期待から、さらに上値を迫る展開となりました。しかし2月に入ると、市場予想を上回る1月の米国雇用統計を受けて同国の金利が上昇したことから大幅に下落しました。その後は、良好な企業業績などを受けて一時的に反発しましたが、米国の保護主義的な貿易政策を受けて米中間の貿易摩擦への懸念が高まったことなどから上値の重い展開となり、期末を迎えました。

○為替相場

為替相場は、米ドルなどは対円で下落した一方、ユーロなどは対円で上昇しました。期首より、トランプ大統領のロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑などが円高の材料となりました。2017年6月以降は、ECB（欧州中央銀行）の金融緩和姿勢の後退がユーロなどの上昇要因となりました。9月に入ると、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから円安傾向となりました。その後、主要通貨はおおむね横ばいで推移しましたが、2018年に入ると、米国のムニューシン財務長官による米ドル安容認発言などから米ドルが下落しました。2月以降は、米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことや各国の株価が急落したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、円高が進行しました。3月下旬から期末にかけては、米国の金利が上昇したことなどから米ドルなどが対円で上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

米国は良好な雇用環境を背景に景気拡大が続いています。欧州は、景気回復が着実に進展する中、フランス大統領選挙で事前の世論調査通りにマクロン氏が勝利したことで当面の政治リスクは軽減されました。中国は5年に一度の共産党大会を秋に控え政治動向が注目されますが、欧米を中心に良好な投資環境は継続すると考えています。当面の間、ETFでの運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行う予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りははじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行う方針です。

年月日	基準価額		MSCIコクサイ指数 (円換算)		投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	%
(期首) 2017年5月8日	13,427	—	14,418	—	96.1
5月末	13,347	△ 0.6	14,263	△ 1.1	96.4
6月末	13,532	0.8	14,455	0.3	94.2
7月末	13,558	1.0	14,558	1.0	95.7
8月末	13,475	0.4	14,470	0.4	94.5
9月末	14,074	4.8	15,116	4.8	96.3
10月末	14,186	5.7	15,449	7.1	98.1
11月末	14,206	5.8	15,530	7.7	96.6
12月末	14,604	8.8	15,988	10.9	96.6
2018年1月末	14,620	8.9	16,157	12.1	97.5
2月末	13,856	3.2	15,403	6.8	98.6
3月末	13,381	△ 0.3	14,716	2.1	98.2
4月末	14,079	4.9	15,346	6.4	98.7
(期末) 2018年5月8日	13,971	4.1	15,319	6.2	98.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIコクサイ指数(円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIコクサイ指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIコクサイ指数(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

◆ポートフォリオについて

ファンド規模が一定水準に達するまでETFでの運用が合理的であると考え、流動性や配当利回り等を勘案し、ISHARES INTERNATIONAL SELECTとVANGUARD HIGH DVD YIELD ETFを組み入れました。投資証券組入比率につきましては、おおむね高位を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

海外株式市況は堅調な推移が見込まれます。企業業績は、好調な世界経済を背景に順調に成長を続けています。地政学的なリスクの高まりや世界的な貿易摩擦の激化などが懸念材料となりますが、引き続き好調な企業業績を反映した堅調な相場展開になると想定されます。当面の間、ETFでの運用を継続する見込みですが、ファンド規模が一定水準に達した後は、個別銘柄への投資も行なう予定です。その際には、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域において配当の質に着目しつつ、業績動向や配当利回りをはじめとした株価バリュエーション、時価総額などを勘案しながら銘柄選定を行なう方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料 (投資信託証券)	12円 (12)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	27 (3) (24)
合 計	40

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況  
投資信託証券

(2017年5月9日から2018年5月8日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口 21.112 ( — )	千アメリカ・ドル 951 ( — )	千口 21.5 ( — )	千アメリカ・ドル 959 ( — )

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託証券

(2017年5月9日から2018年5月8日まで)

買 付	当			平均単価	売 付	期		
	口 数	金 額	平均単価			口 数	金 額	平均単価
銘柄	千口	千円	円	銘柄	千口	千円	円	
ISHARES INTERNATIONAL SELECT (アメリカ)	16.205	60,165	3,712	ISHARES INTERNATIONAL SELECT (アメリカ)	16.4	58,979	3,596	
VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF (アメリカ)	4.907	44,337	9,035	VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF (アメリカ)	5.1	44,925	8,809	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ワールド好配当株式マザーファンド

### ■組入資産明細表 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
VANGUARD HIGH DVD YIELD ETF	10.893	10.7	884	96,338
ISHARES INTERNATIONAL SELECT	39.695	39.5	1,344	146,438
合計	□数、金額	50.588	50.2	2,229 242,776
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄	<98.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2018年5月8日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託証券	242,776	98.7
コール・ローン等、その他	3,129	1.3
投資信託財産総額	245,906	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.91円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(244,810千円)の投資信託財産総額(245,906千円)に対する比率は、99.6%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月8日現在

項目	当期末
(A) 資産	245,906,182円
コール・ローン等	3,129,564
投資信託証券(評価額)	242,776,618
(B) 負債	32
その他未払費用	32
(C) 純資産総額(A-B)	245,906,150
元本	176,006,272
次期繰越損益金	69,899,878
(D) 受益権総口数	176,006,272口
1万口当り基準価額(C/D)	13,971円

\* 期首における元本額は187,122,440円、当期中における追加設定元本額は92,911,901円、同解約元本額は104,028,069円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド(部分為替ヘッジあり)176,006,272円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,971円です。

### ■損益の状況

当期 自2017年5月9日 至2018年5月8日

項目	当期
(A) 配当等収益	8,413,669円
受取配当金	8,416,303
受取利息	154
支払利息	△ 2,788
(B) 有価証券売買損益	902,850
売買益	10,576,474
売買損	△ 9,673,624
(C) その他費用	△ 505,781
(D) 当期損益金(A+B+C)	8,810,738
(E) 前期繰越損益金	64,133,972
(F) 解約差損益金	△ 39,047,931
(G) 追加信託差損益金	36,003,099
(H) 合計(D+E+F+G)	69,899,878
次期繰越損益金(H)	69,899,878

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



# 先進国 R E I T マザーファンド

## 運用報告書 第 5 期 (決算日 2018年 5 月 8 日)

(計算期間 2017年 5 月 9 日～2018年 5 月 8 日)

先進国 R E I T マザーファンドの第 5 期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<p>イ. 先進国（日本を除きます。以下同じ。）の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）または店頭登録（登録予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「リート」といいます。）</p> <p>ロ. 先進国のリート指数を対象指数とした E T F（上場投資信託証券）</p> <p>ハ. 先進国のリートを対象としたリート指数先物取引</p> <p>ニ. 国内の債券</p>
運 用 方 法	<p>①主として、先進国のリート、先進国のリート指数を対象指数とした E T F、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引および残存期間の短いわが国の債券に投資し、先進国のリート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。</p> <p>※一部日本のリートを含む指数を対象とする E T F を組み入れる場合があります。</p> <p>②運用の効率化を図るため、先進国のリートを対象としたリート指数先物取引を利用することがあります。このため、リートおよび E T F の組入総額ならびにリート指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

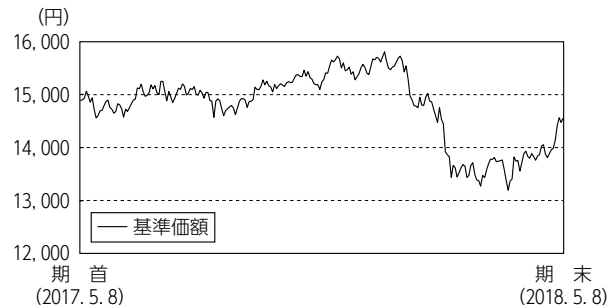
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S&P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース)		投資信託 証券 組入比率	不動産投信 指数先物 比率	
	円	騰落率	参考指数	騰落率		%	%
(期首)2017年5月8日	14,893	—	16,214	—	97.2	—	—
5月末	14,649	△ 1.6	15,997	△ 1.3	97.0	—	—
6月末	15,038	1.0	16,579	2.3	97.2	2.0	—
7月末	15,003	0.7	16,570	2.2	97.6	1.6	—
8月末	14,875	△ 0.1	16,342	0.8	97.9	1.7	—
9月末	15,170	1.9	16,766	3.4	96.3	3.0	—
10月末	15,098	1.4	16,723	3.1	97.1	2.6	—
11月末	15,397	3.4	17,003	4.9	97.4	2.2	—
12月末	15,728	5.6	17,392	7.3	95.8	3.7	—
2018年1月末	14,474	△ 2.8	16,101	△ 0.7	96.3	2.9	—
2月末	13,493	△ 9.4	15,017	△ 7.4	95.5	3.9	—
3月末	13,743	△ 7.7	15,275	△ 5.8	96.7	2.5	—
4月末	14,139	△ 5.1	15,729	△ 3.0	97.0	2.5	—
(期末)2018年5月8日	14,553	△ 2.3	16,237	0.1	97.1	2.5	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース) は、S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかると誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,893円 期末：14,553円 騰落率：△2.3%

【基準価額の主な変動要因】

海外リート市況は期を通じてはほぼ同水準となりましたが、配当金に対する課税分や保管費用等のコスト要因によるマイナスが大きく、

当ファンドの基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

◆投資環境について

○海外リート市況

海外リート市況は、地域によってまちまちの値動きとなりました。

米国リート市況は、期首より、長期金利の低下による割安感が台頭したことで緩やかな上昇基調で始まりまし。2017年7月以降は、米国景気の底堅さやトランプ政権に対する政策期待などの好材料がある一方、利上げ懸念や北朝鮮をはじめとした地政学リスクもあって方向感のない動きとなりました。しかし2018年に入ると、好調な経済指標の発表により早期利上げ観測が高まったことから長期金利が上昇し、利回り資産としてのリートに売り圧力が強まり期末を迎えました。カナダリート市況は、期を通じては緩やかな上昇でした。

欧州リート市況は、2017年6月以降、ドイツなどで長期金利が上昇に転じたことやフランス大手リートの増資発表が悪材料となり、上値が重い展開となりました。その後しばらくは、長期金利の影響を受けた一進一退の値動きとなりました。11月から12月にかけては、好調な不動産ファンダメンタルズや大手商業施設リートに対する買収観測などが好材料となり、フランスやドイツを中心として総じて堅調に推移しました。2018年に入ると、堅調な景気を受けた長期金利の上昇や米国株式の急落から売られる展開となりましたが、期末にかけては急落の反動で緩やかな上昇に転じました。

アジア・オセアニアリート市況は、香港およびシンガポールは、期首から自国金利が低下に転じたことや中国政府への政策期待などにより上昇しました。2017年8月以降は小動きの展開となりましたが、11月からは、一部リートの好決算や世界的な景気見通しの改善などを反映し、上昇しました。2018年に入ると、他地域と同様に下落基調となりました。オーストラリアは、期首から商業施設セクターを中心に売られました。その後はアジア地域と似た値動きとなりました。

○為替相場

為替相場は、米ドルは、期首よりやや米ドル安で始まりまし。2017年6月中旬からFRB (米国連邦準備制度理事会) の金融引き締めを受けて米ドル高となりました。7月中旬からは、トランプ政権の混乱や北朝鮮の地政学リスクを受けて円が買われたことからしばらく米ドル安が続きましたが、9月にはFOMC (米国連邦公開市場委員会) で2017年10月の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから、再び米ドル高に転じました。しかし2018年に入ると、米国政府高官のドル安容認発言や米国が保護主義的な政策を相次いで打ち出したことから、米ドル安が進みました。4月以降は、やや米ドル高に戻して期末を迎えました。

ユーロは、2017年6月下旬からECB (欧州中央銀行) が金融引き締めを転じたことを受けて、ユーロ高が進みました。2018年2月以降は、リスク回避的な動きが強まって円が買われたことから、ユーロ安に転じました。英ポンドは期を通じてはわずかに英ポンド高となりました。

オーストラリア・ドルは、2017年6月以降、資源価格の上昇を受けて買われました。2018年2月中旬以降は、ユーロ同様リスク回避的な動きを受けてオーストラリア・ドル安に転じました。

◆前期における「今後の運用方針」

日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース) を参考に先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

## ◆ポートフォリオについて

海外リートの組入比率（不動産投信指数先物を含む。）は、期を通じて原則として98～99%台で運用を行ないました。

海外リートポートフォリオにつきましては、S & P先進国REIT指数（除く日本）採用銘柄の中から流動性の高い海外リートを中心に通常50銘柄程度で組成し、結果として時価総額の大きい海外リートを主としたポートフォリオとなりました。また2017年6月中旬から、運用の効率化を図るため、先進国のリートを対象とした不動産投信指数先物を一部組み入れました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

期を通じて、海外リート組入比率（不動産投信指数先物取引を含む。）を基本的に98～99%台で推移させました。その結果、参考指数の下落に対しプラスの乖離が発生しました。

一方、配当金に対する課税分や保管費用等のコスト要因が、マイナス要因となりました。

なお、組み入れている流動性の高い海外リートポートフォリオと参考指数との騰落率の差異、参考指数とファンドの為替の評価基準のずれも、乖離要因としてあげられます。

## 《今後の運用方針》

引き続き、日本を除く先進国の金融商品取引所上場および店頭登録のリートに投資し、S & P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）を参考に先進国リート市場の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。なお、運用の効率化を図るため、不動産投信指数先物取引を利用することがあります。また、保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料 (先物)	32円 (2)
(投資信託証券)	(30)
有価証券取引税 (投資信託証券)	30 (30)
その他費用 (保管費用)	22 (21)
(その他)	(0)
合 計	84

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

## (1) 投資信託証券

(2017年5月9日から2018年5月8日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口 2,215.7 (4.85)	千アメリカ・ドル 98,192 (—)	千口 1,955.55 (—)	千アメリカ・ドル 88,632 (—)
	カナダ	千口 137.5 (—)	千カナダ・ドル 1,870 (—)	千口 123.3 (—)	千カナダ・ドル 1,696 (—)
	オーストラリア	千口 2,149.06 (—)	千オーストラリア・ドル 11,886 (—)	千口 1,971.87 (—)	千オーストラリア・ドル 10,901 (—)
	香港	千口 353 (—)	千香港ドル 23,428 (—)	千口 322 (—)	千香港ドル 21,376 (—)
	シンガポール	千口 2,758.4 (—)	千シンガポール・ドル 6,111 (△ 8)	千口 2,555.1 (—)	千シンガポール・ドル 5,544 (—)
	イギリス	千口 931.222 (△ 3.252)	千イギリス・ポンド 6,068 (△ 31)	千口 791.85 (—)	千イギリス・ポンド 5,109 (—)
	ユーロ (ベルギー)	千口 15.4 (—)	千ユーロ 1,668 (—)	千口 13.87 (—)	千ユーロ 1,497 (—)
	ユーロ (フランス)	千口 75.26 (—)	千ユーロ 5,526 (—)	千口 65.99 (—)	千ユーロ 4,841 (—)
	ユーロ (スペイン)	千口 48.49 (—)	千ユーロ 557 (—)	千口 70.38 (—)	千ユーロ 818 (—)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千口 139.15 (—)	千ユーロ 7,751 (—)	千口 150.24 (—)	千ユーロ 7,156 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 先物取引の種類別取引状況

(2017年5月9日から2018年5月8日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
不動産投信指数 先物取引	1,022	921	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託証券

(2017年5月9日から2018年5月8日まで)

当 期				期			
買		付		売		付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
SIMON PROPERTY GROUP INC (アメリカ)	41.1	736,580	17,921	SIMON PROPERTY GROUP INC (アメリカ)	37.3	678,012	18,177
PROLOGIS INC (アメリカ)	77.6	540,317	6,962	PROLOGIS INC (アメリカ)	71.2	505,966	7,106
UNIBAIL-RODAMCO SE (フランス)	16.3	457,558	28,071	PUBLIC STORAGE (アメリカ)	18.2	419,951	23,074
PUBLIC STORAGE (アメリカ)	19.8	454,515	22,955	UNIBAIL-RODAMCO SE (フランス)	14.73	410,471	27,866
AVALONBAY COMMUNITIES INC (アメリカ)	20.9	422,542	20,217	AVALONBAY COMMUNITIES INC (アメリカ)	19.3	388,986	20,154
EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)	54.9	400,539	7,295	EQUITY RESIDENTIAL (アメリカ)	50.3	367,236	7,300
WELLTOWER INC (アメリカ)	52.7	392,114	7,440	WELLTOWER INC (アメリカ)	47.3	351,964	7,441
DIGITAL REALTY TRUST INC (アメリカ)	29.7	382,387	12,874	DIGITAL REALTY TRUST INC (アメリカ)	27.4	351,317	12,821
BOSTON PROPERTIES INC (アメリカ)	27.1	373,213	13,771	BOSTON PROPERTIES INC (アメリカ)	24.3	335,840	13,820
VENTAS INC (アメリカ)	51.3	356,638	6,952	VENTAS INC (アメリカ)	46.8	326,696	6,980

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国投資信託証券

銘 柄	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
<b>(アメリカ)</b>				
AVALONBAY COMMUNITIES INC	3.9	5.5	908	98,955
SIMON PROPERTY GROUP INC	7.3	11.1	1,773	193,146
BOSTON PROPERTIES INC	4.6	7.4	918	100,056
APARTMENT INVT & MGMT CO- A	7.9	—	—	—
GGP INC	17	32.5	653	71,180
VORNADO REALTY TRUST	5.8	10.8	760	82,829
EQUITY RESIDENTIAL	9.9	14.5	906	98,699
HOST HOTELS & RESORTS INC	21.8	39.3	790	86,116
KIMCO REALTY CORP	14.8	25.2	368	40,152
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	—	17.1	442	48,142
GAMING AND LEISURE PROPERTIE	—	19	658	71,680
COLONY NORTHSTAR INC-CLASS A	14.9	—	—	—
VENTAS INC	9.2	13.7	730	79,601
BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	—	26.2	385	42,031
IRON MOUNTAIN INC	—	14.1	485	52,887
VEREIT INC	34.6	68.5	478	52,147
PROLOGIS INC	14.1	20.5	1,342	146,216
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	3.8	5.3	687	74,923
CAMDEN PROPERTY TRUST	4.1	—	—	—
COUSINS PROPERTIES INC	—	61.5	569	62,023
DUKE REALTY CORP	15.5	19.3	548	59,716
ESSEX PROPERTY TRUST INC	2.1	3	724	78,944

銘 柄	期 首		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
FEDERAL REALTY INVS TRUST	2.9	4.6	546	59,542	
WELLTOWER INC	9	14.4	802	87,370	
HCP INC	12	21.7	516	56,200	
HIGHWOODS PROPERTIES INC	—	10.7	491	53,582	
KILROY REALTY CORP	4.5	7.5	553	60,281	
LIBERTY PROPERTY TRUST	9	12.9	558	60,777	
MID-AMERICA APARTMENT COMM	3.9	5.5	511	55,737	
MACERICH CO/THE	4.1	—	—	—	
REALTY INCOME CORP	8.1	12.8	674	73,424	
PUBLIC STORAGE	3.6	5.2	1,091	118,918	
REGENCY CENTERS CORP	5.5	9.1	535	58,374	
TANGER FACTORY OUTLET CENTER	8.2	—	—	—	
SL GREEN REALTY CORP	3.4	6	602	65,581	
UDR INC	11.1	14.8	539	58,704	
WP CAREY INC	5.8	11.2	733	79,920	
WEINGARTEN REALTY INVESTORS	8.9	—	—	—	
DIGITAL REALTY TRUST INC	5.5	7.8	831	90,607	
EXTRA SPACE STORAGE INC	4.2	6.1	569	62,076	
DOUGLAS EMMETT INC	9.1	—	—	—	
DCT INDUSTRIAL TRUST INC	—	10.3	683	74,418	
アメリカ・ドル	口 数、金額	310.1	575.1	24,377	2,654,971
通貨計	銘柄数 <比率>	35銘柄	35銘柄		<69.6%>

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
			千カナダ・ドル	千円
<b>(カナダ)</b>				
COMINAR REAL ESTATE INV-TR U	23.1	37.3	472	39,957
カナダ・ドル □数、金額	23.1	37.3	472	39,957
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<1.0%>
<b>(オーストラリア)</b>				
SCENTRE GROUP	180.76	249.3	1,022	83,722
STOCKLAND	128.08	183.76	769	63,066
WESTFIELD CORP	66.21	97.89	890	72,965
GOODMAN GROUP	75.31	96.6	883	72,399
オーストラリア・ドル □数、金額	450.36	627.55	3,566	292,154
通貨計 銘柄数<比率>	4銘柄	4銘柄		<7.7%>
<b>(香港)</b>				
LINK REIT	71	102	6,783	94,080
香港ドル □数、金額	71	102	6,783	94,080
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<2.5%>
<b>(シンガポール)</b>				
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	—	269.4	713	58,255
CAPITALAND MALL TRUST	222.6	—	—	—
SUNTEC REIT	253.9	410.4	787	64,298
シンガポール・ドル □数、金額	476.5	679.8	1,501	122,553
通貨計 銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<3.2%>
<b>(イギリス)</b>				
LAND SECURITIES GROUP PLC	30.02	40.9	400	59,249
SEGRO PLC	—	76.44	489	72,315
HAMMERSON PLC	45.19	72.03	399	59,029
BRITISH LAND CO PLC	39.51	61.47	413	61,061
イギリス・ポンド □数、金額	114.72	250.84	1,702	251,655
通貨計 銘柄数<比率>	3銘柄	4銘柄		<6.6%>
<b>ユーロ (ベルギー)</b>				
COFINIMMO	2.66	4.19	465	60,497
国小計 □数、金額	2.66	4.19	465	60,497
銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<1.6%>
<b>ユーロ (フランス)</b>				
UNIBAIL-RODAMCO SE	2.84	4.41	870	113,191
KLEPIERRE	8.53	16.23	549	71,355
国小計 □数、金額	11.37	20.64	1,420	184,547
銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<4.8%>

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
			千ユーロ	千円
<b>ユーロ (スペイン)</b>				
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	21.89	—	—	—
国小計 □数、金額	21.89	—	—	—
銘柄数<比率>	1銘柄	—		<—>
<b>ユーロ</b>				
通貨計 □数、金額	35.92	24.83	1,885	245,045
銘柄数<比率>	4銘柄	3銘柄		<6.4%>
合計 □数、金額	1,481.7	2,297.42	—	3,700,418
銘柄数<比率>	50銘柄	50銘柄		<97.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2)先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
	百万円	百万円
外国 DJ US REIT IDXFTRS (アメリカ)	79	—
STOXX600 REIT IDXFTR (ドイツ)	16	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2018年5月8日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託証券	3,700,418	97.0
コール・ローン等、その他	113,813	3.0
投資信託財産総額	3,814,231	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月8日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.91円、1カナダ・ドル=84.55円、1オーストラリア・ドル=81.91円、1香港ドル=13.87円、1シンガポール・ドル=81.60円、1イギリス・ポンド=147.82円、1ユーロ=129.96円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (3,745,282千円) の投資信託財産総額 (3,814,231千円) に対する比率は、98.2%です。

# 先進国REITマザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月8日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,865,015,223円</b>
コール・ローン等	89,775,114
投資信託証券（評価額）	3,700,418,204
未収入金	54,135,816
未取配当金	5,219,052
差入委託証拠金	15,467,037
<b>(B) 負債</b>	<b>52,474,299</b>
未払金	51,195,542
未払解約金	1,276,700
その他未払費用	2,057
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>3,812,540,924</b>
元本	2,619,799,668
次期繰越損益金	1,192,741,256
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,619,799,668口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	14,553円

\*期首における元本額は1,712,907,275円、当期中における追加設定元本額は10,476,877,919円、同解約元本額は9,569,985,526円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、先進国REIT（為替ヘッジなし）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）19,706,282円、ダイナミック・アロケーション・ファンド（適格機関投資家専用）1,797,947,484円、先進国REITファンド（適格機関投資家専用）550,108,139円、りそなダイナミック・アロケーション・ファンド36,908,868円、堅実バランスファンド－ハジメの一步－34,129,642円、DCダイワ8資産アロケーション・ファンド12,730円、DCダイナミック・アロケーション・ファンド5,366,804円、ダイワ外国3資産アロケーション・ファンド（部分為替ヘッジあり）175,619,719円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は14,553円です。

## ■損益の状況

当期 自2017年5月9日 至2018年5月8日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>139,442,688円</b>
受取配当金	139,483,196
受取利息	32,837
その他収益金	33,487
支払利息	△ 106,832
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 162,221,867</b>
売買益	376,491,291
売買損	△ 538,713,158
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>△ 3,251,108</b>
取引益	10,087,453
取引損	△ 13,338,561
<b>(D) その他費用</b>	<b>△ 5,758,509</b>
<b>(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）</b>	<b>△ 31,788,796</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>838,074,345</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 4,920,987,874</b>
<b>(H) 追加信託差損益金</b>	<b>5,307,443,581</b>
<b>(I) 合計（E＋F＋G＋H）</b>	<b>1,192,741,256</b>
次期繰越損益金（I）	1,192,741,256

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。